

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-92771 (P2019-92771A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2017-224161 (P2017-224161)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第 1 の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第 2 の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の磁気センサにより磁気の検知の有無を判定可能な磁気異常判定手段と、

前記設定決定モードと前記設定確認モードのいずれでもない状況で前記磁気異常判定手段により磁気が検知されたと判定された場合に、所定の報知部材を用いた通常態様の磁気異常報知を行う磁気異常報知手段と、を備え、

前記設定確認モード中には、磁気の検知に関する判定を不能としつつ、前記通常態様の磁気異常報知が実行されないようにし、

前記設定確認モード中に該設定確認モードを終了させる終了操作が行われて前記設定確認モードが終了すると、磁気の検知に関する判定に基づく前記通常態様の磁気異常報知が実行可能になる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第 1 の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の

実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第２の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の磁気センサにより磁気の検知の有無を判定可能な磁気異常判定手段と、

前記設定決定モードと前記設定確認モードのいずれでもない状況で前記磁気異常判定手段により磁気が検知されたと判定された場合に、所定の報知部材を用いた通常態様の磁気異常報知を行う磁気異常報知手段と、を備え、

前記設定確認モード中には、磁気の検知に関する判定を可能としつつ、前記通常態様の磁気異常報知が実行されないようにし、

前記設定確認モード中に該設定確認モードを終了させる終了操作が行われて前記設定確認モードが終了すると、磁気の検知に関する判定に基づく前記通常態様の磁気異常報知が実行可能になる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

従来、パチンコ機等の遊技機として、遊技場管理者による設定変更操作によって、当り確率等の設定状態を複数のいずれかに設定する遊技機が知られている。（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開平６－９１０４９号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、設定情報を有する従来の遊技機については、利便性に欠けるという問題があった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、設定情報を有する遊技機について従来よりも利便性を向上させることができる遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 1 に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第 1 の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第 2 の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の磁気センサにより磁気の検知の有無を判定可能な磁気異常判定手段と、

前記設定決定モードと前記設定確認モードのいずれでもない状況で前記磁気異常判定手段により磁気が検知されたと判定された場合に、所定の報知部材を用いた通常態様の磁気異常報知を行う磁気異常報知手段と、を備え、

前記設定確認モード中には、磁気の検知に関する判定を不能としつつ、前記通常態様の磁気異常報知が実行されないようにし、

前記設定確認モード中に該設定確認モードを終了させる終了操作が行われて前記設定確認モードが終了すると、磁気の検知に関する判定に基づく前記通常態様の磁気異常報知が実行可能になる

ことを特徴とする。

また、請求項 2 に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第 1 の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第 2 の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の磁気センサにより磁気の検知の有無を判定可能な磁気異常判定手段と、

前記設定決定モードと前記設定確認モードのいずれでもない状況で前記磁気異常判定手段により磁気が検知されたと判定された場合に、所定の報知部材を用いた通常態様の磁気異常報知を行う磁気異常報知手段と、を備え、

前記設定確認モード中には、磁気の検知に関する判定を可能としつつ、前記通常態様の磁気異常報知が実行されないようにし、

前記設定確認モード中に該設定確認モードを終了させる終了操作が行われて前記設定確認モードが終了すると、磁気の検知に関する判定に基づく前記通常態様の磁気異常報知が実行可能になる

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0015】

請求項 1、2 に係る発明によれば、設定情報を有する遊技機について従来よりも利便性を向上させることができる。